

試合番号 : 415	試合会場 : 日立市池の川さくらアリーナ	観客数 : 867			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:27	試合時間 : 02:27			
主審 : 津嶋 由香	副審 : 渡部 菜保子				
日立Astemoリヴァーレ	通算 10勝 12敗 ポイント: 29	25 第1セット 23	NECレッドロケッツ	通算 12勝 8敗 ポイント: 39	
監督コメント 今日の勝利は、最後まであきらめずに粘り強く戦った結果だと思えます。今日で1、2レグが終了し、全チームと対戦しました。土日の同じ対戦カードの戦いで連勝することが課題だったので、今日の試合を勝ち切れたことは、チームとして大きな収穫だったと思います。来週は1週空いて、再来週から3レグに入ります。目の前の一戦一戦を大切に、全力で戦ってまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。	3	18 第2セット 25	2	監督コメント まずは勝利した日立Astemoを称えたいと思います。互いに苦しい状況も良い状況もあるゲーム展開でしたが、細かな部分の差が勝敗を分けたと感じました。チームとして修正する部分と更に伸ばしていく部分を整理して、来週のゲームに備えたいと思います。苦しい状況が続いていますが、チーム全員で乗り越えていきたいと思います。	
		25 第3セット 22			
		18 第4セット 25			
		16 第5セット 14			
要約レポート 第1セット、序盤NECレッドロケッツは柳田、古賀のスパイクで得点を重ねる。日立Astemoリヴァーレは雑賀のブロックから流れを掴み、リードを作る。終盤、NECは同点に追いつくも、日立Astemoが室岡のスパイク、渡邊のサービスエースで逃げ切りセットを先取した。 第2セット、NECは鳥村のブロックや古賀のスパイクでリードを奪う。日立Astemoは境、室岡をコートに入れて流れを変えようと試みる。境のトスから幅の広い攻撃を繰り広げる日立Astemoだが、NECは序盤の勢いをそのままにセットを奪い返した。 第3セット、序盤は日立Astemoが入渡、渡邊の攻撃が決まり、中盤にかけてリードする。鳥村、古賀のスパイクで点差を縮めようとするNECだが、日立Astemoは粘り強いレシーブから長内がスパイクを決め、セットを奪った。 第4セット、序盤からNECがリードする。日立Astemoはオクム大庭を投入するが、最後まで流れを渡さなかったNECがセットを奪い、フルセットに持ち込んだ。 最終セット、一進一退の攻防から日立Astemoが渡邊のブロックでリードを奪う。NECも鳥村のブロック、古賀のスパイクで反撃する。日立Astemoは室岡を投入して逃げ切ろうとするが、デュースにもつれ込む。最後は雑賀のノータッチエースで、日立Astemoがホームゲームで連勝を飾った。					

試合番号 : 416	試合会場 : 埼玉県立武道館	観客数 : 710			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:33	試合時間 : 01:33			
主審 : 明井 寿枝	副審 : 村中 伸				
埼玉上尾メディックス	通算 14勝 6敗 ポイント: 40	25 第1セット 19	岡山シーガルズ	通算 5勝 15敗 ポイント: 18	
監督コメント 土曜日勝利して日曜日に負けるということが続いているので、この流れを断ち切るために、選手たちがハードワークし、エネルギーに戦ってくれたことを嬉しく思います。次戦は水曜日の試合になりますが、良い流れをキープできるように準備します。	3	25 第2セット 22	0	監督コメント 1、2セットとも、中盤以降、相手の方が岡山対策を十二分に駆使した攻めをやりきっていたように思う。それへの対応が後半手後手になり、ディフェンスがうまく機能しなかったことが原因。先週の勢いを力にしたかったが、期待感があり、自分の本気度が少し足りない。来週のホームゲームに向け修正し、勝利をお届けできるよう頑張っていきたい。	
		25 第3セット 18			
要約レポート ホームで2連勝し、地元・上尾市民の応援に応えたい埼玉上尾メディックスと岡山シーガルズの一戦。 第1セットは、岡山・宮下のサービスエースから試合が始まった。埼玉上尾は佐藤とロソ、岡山はタナッチャと中本がそれぞれアタックやフェイントで攻撃をするが、両チームとも粘り強くボールをつなげ、中盤まで一進一退の攻防が続いた。流れが変わったのは、埼玉上尾・仁井田、鎌田の選手交代。ロソのアタック、仁井田のブロックと、流れが埼玉上尾に傾き、最後は黒目がサーブで岡山を崩し、返ってきたチャンスボールを内瀬戸が相手コートに落とすセットを先取した。 第2セット、序盤、勢いに乗る埼玉上尾はロソのブロック、佐藤と内瀬戸のアタックで得点し、リードする展開となる。中盤、岡山は及川やタナッチャのアタックで追いつき、両チームともワンタッチボールを粘り強く拾い合う白熱したラリーが続いた。終盤流れを変えたのは、またもや埼玉上尾の選手交代だ。リリーフサーバーで出た岩澤がサーブで相手コートにボールを押し込んだ。岡山の長瀬が反撃をするも、最後は埼玉上尾ロソの鋭いアタックが岡山コート突き刺し、セットを連取した。 第3セット、埼玉上尾の勢いは止まらない。ロソ、内瀬戸、佐藤が投入通りの攻撃を決め、リードする。山崎の華麗なトスワークでセンター青柳も輝きを見せ、12-4と埼玉上尾の大量リードでテクニカルタイムアウトを迎える。岡山は、及川や佐伯が反撃するも、埼玉上尾の勢いは止められなかった。途中交代で出場した岩澤の好レシーブ、仁井田のアタックと、個々が自分の役目を果たした埼玉上尾がストレートで勝利した。					

試合番号 : 417	試合会場 : ありそドーム (魚津テクノスポーツドーム)	観客数 : 1,270			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:55	試合時間 : 01:55			
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 森口 豊				
KUROBEアクアフェアリーズ	通算 8勝 12敗 ポイント: 22	22 第1セット 25	トヨタ車体クインシーズ	通算 11勝 11敗 ポイント: 30	
監督コメント 相手チームの強力な攻撃力に流れを掴むことができず、苦しいゲームとなりました。しかし、選手たちがゲームの中で修正し、徐々に対応できたことが本日の結果につながりました。ホームゲームにお越しいただきました皆様と勝利を分かち合えたことを非常に嬉しく思います。	3	25 第2セット 20	1	監督コメント KUROBEアクアフェアリーズとの2戦目1-3で敗れてとても悔しい内容であった。2試合通してお互いに苦しいゲーム展開はあったが、しっかり立て直し戦い切ったKUROBEに軍配があがった。2試合通してまだまだ足りないところがたくさんあると痛感したが、1つずつ確認し修正し残り一戦残り一戦を戦いたいと思う。	
		25 第3セット 16			
		25 第4セット 20			
要約レポート 現在、レギュラーラウンド6位のトヨタ車体クインシーズと10位のKUROBEアクアフェアリーズとの対戦。 第1セット、トヨタ車体はダニエル、鴨原が、KUROBEはイヴェギン、コクラムが得点を重ね、終盤まで一進一退の展開となる。トヨタ車体が終盤に大川のスパイク、リリーフサーバー舟根の連続サービスエースで3連続得点しリードすると、このリードを保ちセットを先取した。 第2セット、中盤まで1点差の接戦となる。KUROBEが10-10から山口、イヴェギンのスパイク、ブロックなどで6連続得点し一気に流れを引き寄せ、その後も3連続得点を重ね23-14と大きくリードする。トヨタ車体も大川、ハツヤのスパイクなどで3連続得点を重ね20-24まで追いつくも、最後はKUROBEの高橋がスパイクを決めて奪い返した。 第3セット、序盤、KUROBEが山口のスパイクにトヨタ車体の3本のミスも重なり5連続得点して主導権を握る。その後も、KUROBEはリベロ福本を中心とした好レシーブから中村、高橋がスパイクを決める展開で連続得点を重ね、このセットを大差で連取した。 第4セット、トヨタ車体はセッター加地を先発させると立ち上がりから鴨原のサービスエース、ハツヤのブロック、スパイクなどで連続得点を重ね流れを掴む。一時KUROBEに追いつかれるも、鴨原、ダニエルのスパイクなどで突き放す。しかし、そこからKUROBEがコクラムのスパイク、山口のブロックなどで連続得点を重ね逆転する。トヨタ車体も周田のブロックなどで追いつくも、KUROBEが20-20からコクラムのスパイク、中村のブロックなどで6連続得点し、この試合に勝利し、ホームゲームで連勝を飾った。					

試合番号 : 418	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイニング体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 1,540			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:29	試合時間 : 01:29			
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 國頭 亮太				
ヴィクトリーナ姫路	通算 2勝 20敗 ポイント: 11	18 第1セット 25	東レアローズ	通算 16勝 6敗 ポイント: 46	
監督コメント 昨日のゲームを振り返り、攻守において修正すべき点を明確にしてゲームに臨んだ。第3セットで終盤までリードする展開を作れたことは、収穫であるが、セットを取り切るところまで至らないことへの自分たちの実力が衰えている。終盤での競り合いの強さを身につけるよう今後も取り組んでいきたい。	0	15 第2セット 25	3	監督コメント 1、2セットは競り合いながらも、自分達のペースで試合をすることができた。第3セット、ヴィクトリーナ姫路の攻撃的なバレーに押され、自分達からミスを出してしまった。そんな中でも、ゲーム終盤に追いつき、勝ち切る事ができてよかった。課題をしっかりと修正しながら、リーグ後半戦に向けてコンディションを整えたいと思う。	
		23 第3セット 25			
要約レポート ホームゲームで勝利を飾りたいヴィクトリーナ姫路と、首位を狙いたい東レアローズとの対戦。 第1セット、東レは井上、野呂のスパイク、姫路はブラク、宮地がスパイクを決め、お互いに粘り強く点を取り合う展開となったが、東レは開のブロックからリズムに乗り25-18で先取した。 第2セット、序盤から姫路はブラク、宮地にボールを集めて攻めた。東レは井上、石川のスパイクで徐々に点差を広げ、猛追する姫路を振り切り連取した。 第3セット、後がない姫路は、田中、ブラク、宮地のスパイクでリードを奪う。東レは石川、クランのスパイクで中盤に追いつき、大接戦となった。姫路も固い守備で粘りを見せたが、東レ石川のスパイクの勢いは止まらず最後は、東レが競い勝った。					

試合番号 : 419	試合会場 : SAGAプラザ総合体育館 (佐賀県総合体育館)	観客数 : 1,314		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:37	試合時間 : 01:37		
主審 : 江口 祐一郎		副審 : 原 啓之		
久光スプリングス	通算 15勝 7敗 ポイント : 43	25 第1セット 18	デンソーエアリービーズ	通算 9勝 13敗 ポイント : 28
監督コメント	3	25 第2セット 16	0	監督コメント
		25 第3セット 23		
		第4セット		
		第5セット		
		第5セット		
要約レポート				
<p>今シーズン最後の佐賀でのホームゲームという事もあり、しっかりと勝ちたい試合だった。2日目の対戦という事で、相手が対応してくる中、オフェンス面で工夫して、うまく得点を取れたことは勝因の1つだと感じている。リーグ戦の試合を通して、少しずつ成長を実感しながら、3レグも戦ってきたい。</p> <p>昨日はスタートが良かったので、もう一度スタートから流れを掴む展開を作ろうと試合に臨みました。序盤はうまくゲームに入れましたが、相手の粘りに対してこちらが負けてラリーを取りきれない展開となりました。今日で2レグが終わり、再来週から3レグが始まるので、チームとしても、個人としても整理をして、大事にするものを見失わずによりエアリービーズらしく戦えるように頑張ります。</p> <p>第1セット、久光スプリングスは濱松の攻撃が連続で決まり、主導権を握る。デンソーエアリービーズはセッター松井を中心に多彩な攻撃を仕掛けて追い上げを見せるが、終盤久光はファンヘックのスパイク、ブロックが決まりリードを広げると、そのままセットを先取した。第2セット、久光は序盤からサーブが走り優位に試合を進める。リベロ西村のスーパーレシーブで勢いに乗ると、長いラリーを次々に制してリードを広げる。デンソーは選手交代で反撃を試みるも、久光は要所でブロックポイントが決まり、危なげなくセットを連取した。第3セット、後がないデンソーは中元、ネリマンの強打で序盤リードを奪う。追う久光は荒木のブロック、スパイクが決まって同点に追いつくと、中盤以降は一進一退の攻防が続く。最後までもつれた試合に終止符を打ったのはファンヘック。サービスエースで粘るデンソーを振り切り、久光がストレートで勝利した。</p>				

試合番号 : 420	試合会場 : 宮崎市総合体育館	観客数 : 736		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:56	試合時間 : 01:56		
主審 : 山本 晋五		副審 : 黒岩 健		
JTマーヴェラス	通算 17勝 5敗 ポイント : 50	25 第1セット 15	PFUブルーキャッツ	通算 9勝 13敗 ポイント : 28
監督コメント	3	25 第2セット 18	1	監督コメント
		22 第3セット 25		
		25 第4セット 15		
		第5セット		
		第5セット		
要約レポート				
<p>宮崎大会2日目。相手に対する対応力が必要となる前半は、自分達で点数を取ることができました。序盤は両チーム激しい打ち合いが続く。PFUはジャンや堀口のスパイクで得点するも、JTロウの高さのあるスパイクや林の鋭いスパイクが決まり、JTが先取した。後半はサイドアウトゲームとなり苦しい時間がありましたが、連続ブロックで相手に差をつけることができました。サポーターメンバーのコミュニケーションやメンバーチェンジした選手達が、チームのムードを下げることなく勝利することができました。ホームゲームで多くの方々に力を頂きました。リーグ戦後半、しっかりと心・技・体を鍛えていきます。</p> <p>1セット取ることができたものの、ゲームとしては完敗でした。確実にできることを増やして、残りのリーグ戦に挑みたいと思います。</p> <p>宮崎でのホームゲームで連勝し首位をキープしたいJTマーヴェラスと連敗は避けたいPFUブルーキャッツとの一戦。第1セット、序盤から両チーム激しい打ち合いが続く。PFUはジャンや堀口のスパイクで得点するも、JTロウの高さのあるスパイクや林の鋭いスパイクが決まり、JTが先取した。第2セット、序盤サイドアウトが続く中、JTは榊原の2連続サービスエースでリードした。一方、PFUはジャン、堀口のスパイクで得点をし、粘りを見せる。その後、JTはタクトダオがブロックやスパイクでリードを広げ、勢いそのままに連取した。第3セット、序盤は両チーム一進一退の攻防が続く。中盤、JT榊原のツアタック、田中のスパイク、林のバックアタックが決まり3連続得点で一歩抜け出す。しかしPFUは堀口のスパイク、サービスエースで16-16と追いつき、緊迫した展開となる。終盤、PFUはジャンのスパイクでリードを奪うと、堀口、鍋谷のスパイクで得点を重ね、このセットを取り返す。第4セット、序盤JTはロウ、林の攻撃でリードを広げる。一方、PFUは鍋谷のスパイク、ジャンのブロック、アコスタのスパイクで14-14と追いついた。最後は、JT林のスパイク、榊原のブロック、橋井のサービスエースなどで得点を重ね、3-1で勝利した。PFUの鋭い攻撃に対し、JTリベロ西崎を要に、レシーブ力でラリーの応酬が続く、盛り上がるホームゲームとなった。</p>				

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :		
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :		
主審 :		副審 :		
通算	- 勝 - 敗 ポイント :	第1セット	通算	- 勝 - 敗 ポイント :
監督コメント		第2セット	監督コメント	
		第3セット		
		第4セット		
		第5セット		
		第5セット		
要約レポート				

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :		
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :		
主審 :		副審 :		
通算	- 勝 - 敗 ポイント :	第1セット	通算	- 勝 - 敗 ポイント :
監督コメント		第2セット	監督コメント	
		第3セット		
		第4セット		
		第5セット		
		第5セット		
要約レポート				